



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2026年4月 通巻 436号

今月のテーマ Week4Wast・RBM



会長	小林 勉	クラブ会長主題 「人、出会い、交流」
副会長	岡部八千代	国際会長 A・シヤナヴァスカーン (インド) 「より良い世界のために、共に」
	澁谷弘祐	アジア太平洋会長 ジョウン・ウォン (香港) 「大きなインパクトを起こそう」
書記	宮地輝子	東日本区理事 山下 真 (十勝) 「ワイズらしさ再発見」
会計	金本伸二郎	関東東部部長 鈴木雅博 (江東) 「CHANGE (変革) 若者から発信！」

今月の聖句

なお、きょうだいたち、すべて真実なこと、すべて尊いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことを、また、徳や称賛に価することがあれば、それを心に留めなさい。

フィリピの信徒への手紙第4章8節

4月 例会 秩父ツアー・W4W

日時：令和8年4月25日(土)
10:10 入曽駅東口集合

- ➡飯能➡日高・・・➡一路秩父へ
- 羊山公園芝桜➡今井屋のおばちゃん訪問
- ➡秩父神社
- ➡昼食 武蔵屋お蕎麦
- ➡祭り会館……ここから帰路小川町周り
- ➡小川町桃源郷➡都幾川お茶タイム
- ➡毛呂山セブンイレブン
- ➡入曽駅東口

W4W (4月のテーマ) でゴミ拾いをします。
羊山公園 (芝桜への) 入園料 500円
車を柿原さんが出して下さいます。

不便益

小林恵子

最近 キャッシュレスでの決済をするというのが、私の日常になっています。

職場のある淡路町界限では、クレジットカードやスマホを携帯していれば財布を持たなくてもほとんどのことが問題なく処理されます。

なので財布を出してお金を数える手間が省けてとても便利です。

私の暮らす大泉学園ではまだ全てがキャッシュレスというわけにはいきません。

地元で買い物をするとき、ちょっとしたこだわりがあって、スーパーでは日用品、肉は肉屋さん、野菜果物は八百屋さんというようにいくつも店舗をめぐる。

ある日スーパーで日用品を買いバーコード決済の機械の前に立ち商品を赤いランプにかざしてトートバッグに商品を入れたところ、係の女性にカウントされていない商品がありますと言われ購入履歴を確認すると確かにカウントされていない商品がありました。ごめんなさい気が付かなくてとあやまると一つ一つ確認してくださいと言われました。万引きを疑われたのだと思い、いやあな感じになりました。その負のオーラ満載で八百屋さんに行きバナナを購入し、レジに並びました。八百屋さんはキャッシュオンリー。わたしの前のご老人がレジでお支払いをしています。財布の中身を全部出してとても時間がかかっています。後ろは長蛇の列、私のいらいはマックスです。もう本当に年寄りって、もたもたして、あんなふうになってはいけない、前もって準備しなきゃ、と。私の順番になり162円のお代を支払うのに財布の中身が見えない。お金を全部財布から出して数えていたらお金を地面にばらまいてしまい、とんでもない事態になり

ました。大慌てで申し訳ありません時間がかかってしま
って、と汗だくで後ろに並んでいるおじいさんに詫びる
との方が、いいんだよ。いいよ、ゆっくりやればとお
金を拾ってくださいました。おじいさんのやさしさにと
ても感動し、自分の心の狭さを教えていただきました。
世の中がデジタル化により快適便利になったと思いがち
ですが、不便益【不便によって得られる利益】という言
葉があるように便利さからは得られない特別な価値や感
動があることを知らされました。

例会報告

小林茂和

2026年3月21日(土)18時~20時

出席者は小林(勉)・金本・岡部・大澤(和)・小林夫妻・宮
地夫妻・松石夫妻・八重樫・星・長谷川・福田・大澤(操
)以上15名



小林会長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、
聖句朗読と祈りのセレモニーの後、会食となりました。
いつものヤオコーの弁当の注文ができず、角上魚類の弁
当でした。

会食後『100年前の子供たち』という岡部氏の卓話が
始まりました。

岡部氏は退職後、『まけるなわかちゃん』というタイト
ルで大正元年生まれの母の12歳までの話をまとめた絵
本を作成されました。

岡部氏の母は吉見町という田舎で生まれて、少女期を過
ごしました。生前は自身のことを語らなかつたけれど母
の妹の娘(従妹)が母の話をしてくれ、それを聞いて本を
構成したとのことで、母の幼少期の生活を描いた絵本の
概要、制作過程の要点を話されました。

母の名前はわかちゃんと言ひ、幼少期は兵隊さんごっ
こなどで野山を駆け回り、お転婆のだったそうです。塾
などに通ひ、ゲーム機で遊ぶ今の子どもたちの様子とは
全く違います。母・父・わかちゃん・祖母・姉・兄・妹・
馬方の大家族です。箱膳を使った食事の様子を描いた挿
絵は親から聞いたり、子ども時代に田舎で経験した箱膳

の光景を思い出したりした人もいたのではないかと思ひ
ます。

1923年の関東大震災の時は東京の火災の炎が吉見町
で見た様子の挿絵に被害の甚大なことを連想させると
ともに自然災害の恐ろしさを卓話の中で痛感しました。

わかちゃんは学校の成績はよく、先生は両親に上の学
校への進学を進めたけれど、貧しさから進学できなかった
そうです。大学等の高等教育を受けられることが当た
り前である現代の風潮と違い、旧制中学、女学校に進学
するのが稀であった当時の子どもの生活を窺い知ること
ができました。

絵本は12歳までのわかちゃんの話をもとめたもので
したが、18歳まで母の畑を手伝ひ、その後、東京のお屋
敷に女中奉公に出され、そこでは裕福な生活に驚き、奥
さんから料理や行儀見習ひを習ったそうです。そして30
歳になった時に、子供が6人いる再婚であった岡部氏の
父のところに嫁いできました。岡部氏の家は米穀商と製
麵所を営み、従業員も多く、せわしく、それは忙しい毎
日であったそうです。その後、岡部氏達姉妹が成長した
ことに母は幸せだったと言ってくれたそうです。今の時
代なら、もっと活躍できたであろう母を思うと本当に自
分たちは母のお蔭と思ったと母への感謝が伝わりました。

絵本の挿絵を描かれた大澤操さんがゲストで参加され
ていて、大正期の子供の様子を図書館で調べたという話
が聞けました。また、本の構成をされた松石さんもゲスト
で来られていて、お二人のお蔭で、この絵本ができた
と岡部氏は述べられました。

卓話を聞いて参加者から自身の母のこと、箱膳の話や
女中奉公や進学できなかった話など母から聞いたなど、
それぞれに懐かしく、卓話に共感した思いが語られ、100
年前の子どもたちを感慨深く思ったことでした。

YMCA 報告

太田 聡

皆さまの多大なるご支援により、2025年度も全てのプロ
グラムを無事に終えることができました。この一年を振り
返りますと、所沢センターでは通常の活動に加え、所
沢市からの委託を受け、待機児童の一時預かり事業「サ
マブレ」を実施いたしました。地域ニーズに直接応える
新たな一歩となりました。また、3月27日~28日には
「雪遊びキャンプ」を開催。若手スタッフたちが主体と
なってやり遂げたことは、次代のリーダー育成という面
でも大きな収穫となりました。

3月20日には、日本YMCA同盟総主事の就任・退任式
が行われました。長年尽力された田口努さんが退任され、

4月からは前・せとうち YMCA 総主事の太田直宏さんが新総主事に就任されます。埼玉と全国、それぞれ別の「太田」が力を尽くしてまいりますので、お間違いなきようお願いいたします（笑）。

4月からは所沢センター館長に桜井徹さん、こぼと児童館長は太田昌孝さんが引き継ぎます。2026年度も様々なチャレンジを恐れず、ワイズメンズクラブの皆さんと手を取り合いながら、より一層地域に必要とされるYMCA活動を広げてまいります。新しい年度も、変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

川越ワイズ主催バスツアーの参加 岡部八千代

3月28日(土)晴天に恵まれ、所沢ワイズから大澤さん、宮地さんの二人と川越主催のバスツアーに参加した。主な目的地は群馬サファリパークとこんにやくパーク。サファリパークは初めてで、どんな動物との出会いがあるのか興味があったし、こんにやくパークは2回目で詰め放題がしたいと思っていた。

1 コース

8:00 川越ウエスタ集合—8:18 出発—上里 S.A (トイレ休憩)—9:50 群馬サファリパーク着—園内散策 (バス、徒歩)—11:30 ランチ (カレーライスとサラダ)—12:30 サファリパーク発—12:45 こんにやくパーク着 (無料バイキングと買い物)—15:00 高坂 S.A (トイレ休憩)—15:30 川越ウエスタ着
渋滞時間を避けての日程でほぼ時間通りで見事な計画だったと感心した。

2 参加者

YMCA リーダー河合さん、武藤さん、川越ワイズメンバー、所沢ワイズメンバー、クローバー (YMCA 小・中・高校生) アップ (YMCA 卒業生) 総勢27名

群馬サファリパークでは期待通り、沢山の野生動物に出会えた。サファリエリアはバスに乗ったままの見学で、ライオンゾーンでは、見た事のない様な多数のライオンが集団でたむろしていたり、のっそのっそと歩いている姿も見ることが出来た。他にもホワイトタイガー、シマウマ、象、チーター、ヒョウ、サイ、ツキノワグマ、ラクダ等々。サルとツキノワグマが近距離で一緒に居るのにも驚かされた。触れ合いパークでは身近に可愛い動物に出会い、餌やりや直接の接触もできた。私は、初めて見たエミューの顔と動きに興味を持ちじっと見入ってしまった。初

めての体験でエキサイトした一方、「この動物たちは何を思い、考えているのだろうか」と複雑な思いもした。「ありがとう。元気でね」

こんにやくパークでは、無料バイキングが楽しみで長蛇の列に並び、こんにやく料理を味わった。その後、詰め放題に挑戦しようと思ったが、以前より品数が少なくなっていたので諦め、単品をお土産にした。こんにやくパークは大人気で常に大勢の人が訪れる不景気知らずのテーマパークだ。



バスの中では、往きも帰りも YMCA のリーダーの司会で自己紹介やクイズで盛り上がり私たちも楽しく参加できた楽しいバスツアーとなった。このツアーに参加して、所沢クラブでもワイズと YMCA の生徒との楽しい行事が計画できたらいいなと思った。

次期会長・部役員研修会報告 大澤和子

3月14日・15日の両日、御殿場の東山荘において次期会長・部役員研修会が開催されました。私は東日本区会員増強主任として、小林恵子さんは所沢クラブ会長代理として参加いたしました。

プログラム I では、理事および事業主任から方針説明がありました。理事は「挑戦なくして進化なし」という標語のもと、ユースエンパワメントを柱にクラブライフの充実を図り、会員増強と財政の健全化を目指す方針を力強く示されました。

特に印象的であったのは、インド体験プログラムに参加した高校生・佐野理子さんの発表です。現地の大学生との交流や、ハイデラバードクラブ会員宅でのホームステイ体験を、映像を交えて生き生きと語ってくださいました。若い時期に異文化に触れることの大切さを改めて実感しました。このプログラムは、山本剛史郎ユース事業主任を中心に、川越クラブの協力によって実現したものです。

プログラムⅡではグループディスカッション、Ⅲではその報告が行われ、各クラブの取り組みや今後の運営について活発な意見交換がなされました。

プログラムⅣでは部ごとのディスカッション、Ⅴではその報告がありました。関東東部では、廣田光司次期部長（千葉クラブ）を中心に協議が進められました。グリーンクラブの「神田川船の会」や、川越クラブによる特別支援の子どもたちとのバス旅行など、継続的なプログラムがクラブ活性化に寄与すること、また、のぼりを活用してW4Wなどの奉仕活動を広く周知していくことなどが話し合われました。なお、関東東部の第1回評議会は7月25日、部大会は2月6日に開催予定です。

プログラムⅥでは、小林事務所長より事務手続きのポイントについて説明があり、続いて田附東日本区担当主事よりYMCAの報告がありました。いずれも次期会長・副会長・書記・会計の皆様にはぜひ共有していただきたい内容です。当日配布されたワークブックを、役員の皆様はご確認ください。

ユースサポートファンドのお知らせ 大澤和子

3/14・15の次期会長研修会でユースサポートファンドについて、お知らせがありました。所沢クラブのLINEでもお知らせしましたのでご覧ください。

ユースアクションやインド体験交流ツアー参加支援、ユース代表の活動基盤強化のために献金をお願いします。

献金 1口 5,000円以上 受付期間 4月30日まで

関東東部の集い 宮地輝子

3月7日、YMCA東陽町センターにて「関東東部の集い」が開催されました。所沢クラブからは会長をはじめ他の会員が参加できなかったため、書記の私が出席いたしました。今年度より関東東部では年2回の集まりを持つこととなり、本会はそのうちのひとつとして開催されたものです。

今回、所沢クラブはクッキーの注文を受け、40個を提供いたしました。会場では参加者の前にクッキーが配られ、司会の方からも紹介があり、クラブとして大変嬉しく感じました。

冒頭では鈴木部長より、「関東東部は年2回の集まりとなったが、何とかメンバーを増やしていきたい」との挨拶がありました。

講演では、聖カタリナ病院院長の辻壮一先生が「運動療法のウソ・ホント」と題してお話しくいただきました。

「この薬が効く」「この運動が良い」といった情報も、個人差や症状に応じた対応が大切であること、また継続できる適切な運動こそが効果的であることなど、日常生活にすぐ役立つ内容でした。講演後には、足・腰・肩・腕

の痛みなどについての質問が多く寄せられ、関心の高さがうかがえました。

続いてゲストの山下理事より、インド体験ツアーについての報告がありました。実施が危ぶまれる中、鈴木部長や江東クラブ、さらに川越クラブの山本剛史郎ユース事業主任をはじめ多くの方々が力を合わせて実現に導いたこと、またインドの文化や国民性に触れる機会を大切にされたことなどが紹介され、ユースの力とワイズメンズクラブの結束の強さを感じました。あわせて、「部大会という形にこだわらず、このような交流の場を通してつながりを深めてほしい」との言葉がありました。クラブ活動報告では、5月9日の東京YMCA主催の「神田川船の会」がポスターとともに案内されたので、これを受け、所沢クラブからも同日に予定している「中村哲さんの映画会」についてアピールいたしました。

その後、会場を移して懇親会が開かれ、参加者同士の交流が深められました。また、講師の辻先生からは整形外科に関するお話をさらに伺うことができ、有意義な時間となりました。

今回は所沢クラブからもより多くの会員が参加できればと思います。



今後の行事予定 宮地輝子

4月25日(土) ワイズ例会(秩父ツアー) W4W(ゴミ拾い)
柿原さん車提供 例会報告 岡部

10:10 入曽駅東口集合→羊山公園→今井屋訪問
→秩父神社→祭り会館→小川町桃源郷→入曽駅東口

5月1日(金) ブリテン5月号発行
一面 澁谷弘祐

5月9日(土) 5月例会
「中村哲氏の映画会」 14:00～(受付13:30～)
YMCA 子育て子育てセンター
入場料 500円

3月例会	
所沢クラブ 8名	ゲスト 7名
計 15名	